

これからの公共施設が抱える課題を知っていますか

旭市公共施設等総合管理計画」を策定

これからの旭市は人口の減少、少子高齢化の進展、それに伴う財政支出が見込まれる中、

公共施設には老朽化などへの対応が必要です。

そこで現状の課題や将来の見通しを踏まえ、

施設を今後も適正に維持し、有効に活用していくため

「旭市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

※この計画の全文は市ホームページのほか、市図書館、各公民館図書室で見ることができます。また出前講座も実施しています。

公共施設が抱える課題

これまで市では、拡大する行政需要に対応するため、特に昭和50年代から多くの施設を建設してきました。公共建築物では、既に築後30年を経過する施設が半数近くに及び、老朽化の課題を抱えています。道路や橋梁、上下水道といったインフラ施設も老朽化が進行しています。平成17年の合併に伴い、市内には類似した施設が数多く存在しています。市の人口減少や財政力低下が想定される中、これ

らの施設の維持が大きな課題となっ ていきます。

計画の概要

〈対象施設〉

公共建築物だけでなく、道路、橋梁、上下水道などのインフラ施設を含めた、全ての公共施設を対象としています。

〈計画期間と取り組み体制〉

平成48年度までの20年間を計画期間とし、必要に応じて見直しを行っていきます。

施設全体を一体的にマネジメントしていくため、専任部門を

設け全庁的な取り組み体制を構築します。

〈ビジョンと数値目標〉

課題解決に向けた整備の方向性を、3つのビジョンごとに定めています。

●市民サービスの維持・向上を図るために、施設の質と量の最適化を進めます。

●行政改革の一環として、施設全体の総合的マネジメントに取り組みます。

●地域の発展と活性化のために、協働によるまちづくりを進めます。

今後20年間で、現在保有する公共施設の延床面積20%以上の縮減を目標としています。

〈今後の取り組み〉

将来の人口減少や市民ニーズの変化、財政状況を予測しながら、今後も継続して公共施設を活用した行政サービスを提供していきます。そのためには具体的な整備計画を策定するなど、さまざまな対策を着実に進めて

いきます。

集約化・複合化／用途が異なる施設や類似する施設を1か所に集約することで、施設運営の効率化を推進します(左図)。

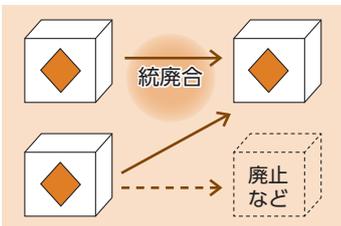
適正配置／稼働率の低い施設や老朽化の著しい施設は、人口分布や地域を考慮した配置になるよう、統廃合などを行いながら建て替え、施設全体の量を縮減します。

休止・廃止／役目を終えた施設や老朽化した施設は、施設の休止や廃止を行い、解体、民間への売却、賃貸などの有効活用を進めます。

計画推進のための手法

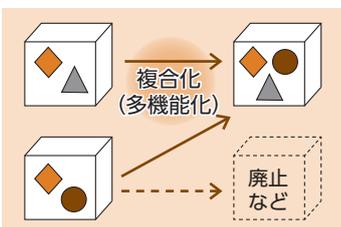
①集約化

用途が同じ建物を同一の建物に配置



②複合化

用途が異なる施設を同一の建物に配置



問い合わせ先

行政改革推進課行政改革推進班

☎ 62・5345

長寿命化／施設の建て替え費用の平準化を図るため、計画的な修繕を進めます。インフラ施設は長寿命化を推進し、適切な維持管理を徹底します。
負担の適正化／利用者負担と税負担の考え方、在り方を示し、料金設定の基準を明確化します。公共性や公平性を踏まえながら、施設の維持管理に必要な水準に見直します。